

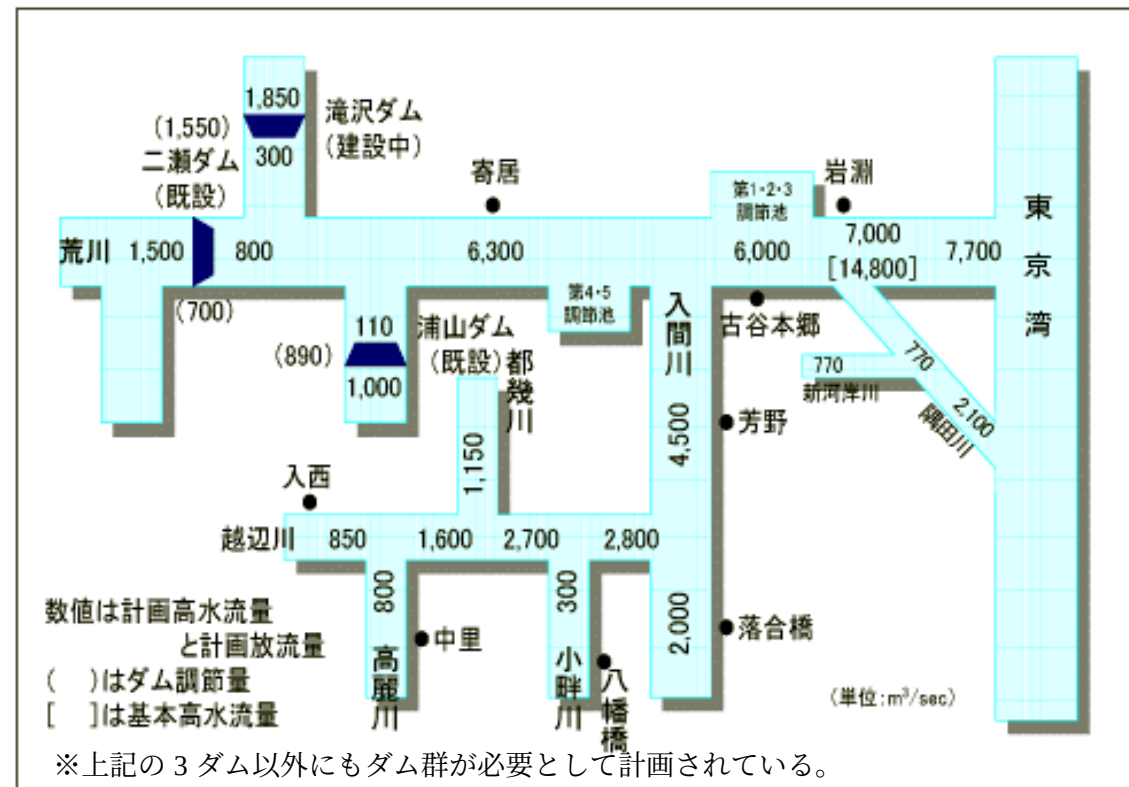
5. 治水

<調節地計画>

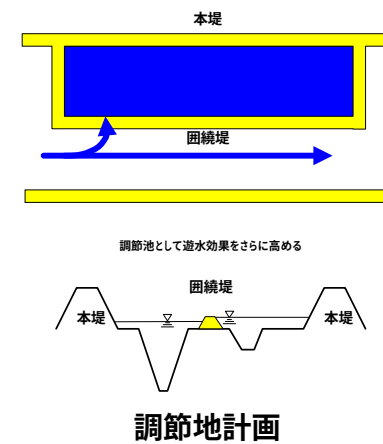
荒川は、「荒川水系工事实施基本計画」により概ね 200 年に 1 回の頻度で発生する規模の洪水を対象としています。200 年に 1 回の頻度で発生する洪水流量は、岩淵地点で基本高水流量毎秒 14,800 m³ となり、上流のダム群や調節池で貯留して岩淵付近で毎秒 7,000m³ を流下させる計画となっています。

調節池は、第 1～第 5 が計画されており、現在は、荒川第一調節池が工事中であります。また、河川整備計画を検討するために設置した「荒川流域みらい会議」において、第 2 及び第 5 調節池の建設について検討されています。

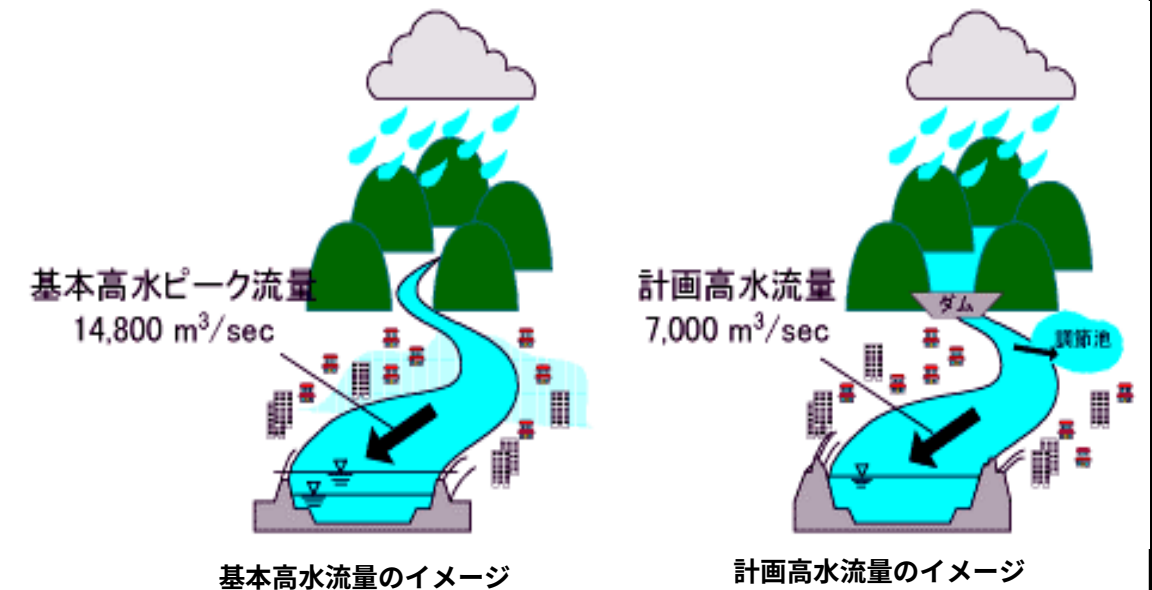
今後 30 年の計画では太郎右衛門自然再生地の第 4 調節池は、検討の対象となっていません。



計画している洪水流量の配分図



調節地計画



調節池諸元 (案)

調節池	池内面積 km ²	池内計画高水位 AP+m	調節容量 万m ³	調節量 m ³ /秒
第1調節池	5.8	11.925	3,900	850
第2調節池	4.9	14.763	3,700	3,450
第3調節池	2.1	15.875	1,500	
第4調節池	3.2	16.853	2,500	
第5調節池	5.5	22.171	2,900	4,300
計	21.5	-	14,500	



調節池計画